



JASDAQ

平成 22 年 1 月 7 日

各 位

会 社 名 エヌアイシ・オートテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 西川 浩司
(J A S D A Q ・ コード番号 5 7 4 2)
問合せ先 管理部管理グループ長 藤井 透
(T E L . 03-5530-8066)

**『組立省力化システム「マーキングシステム™」〈PAT. P〉の新たな開発実用化』
に関する補足説明**

当社は、平成 22 年 1 月 5 日にお知らせしました「組立省力化システム「マーキングシステム™」〈PAT. P〉の新たな開発実用化」に関しまして、当社の業績に与える影響等について精査をした上で補足説明を追加しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

今後の見通し

業績への影響につきましては、平成 22 年 3 月期第 4 四半期のアルファフレーム部門の売上高は、第 3 四半期比で約 10%の増加となりますが、全社の通期業績に与える影響額は軽微であります。

尚、平成 22 年 1 月 5 日の開示以降、社内で再度精査した結果、平成 23 年 3 月期の同部門の売上高は、今回の新商品による拡販効果を軸として前事業年度比約 70%の増加が見込まれ、全社の売上高も 10%以上の増加が見込こまれることより補足説明を加えさせていただきました。

また、本件につきましては平成 21 年 12 月 25 日開催の取締役会において決議されており、平成 22 年 1 月 5 日より販売を開始しております。

平成 22 年 1 月 5 日の開示内容につきましては、別紙をご参照お願い申し上げます。

J A S D A Q インターネット開示システム URL :

http://jds.jasdaq.co.jp/documents/teki_ji/DMY6CH3HFBSV4CAA.PDF

以上



エヌアイシ・オートテック株式会社



平成 22 年 1 月 5 日

各 位

会 社 名 エヌアイシ・オートテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 西川 浩司
(J A S D A Q ・ コード番号 5 7 4 2)
問合せ先 管理部管理グループ長 藤井 透
(T E L . 076-425-0738)

世界初の自動設計システム「カクチャ™」〈PAT. P〉シリーズに次ぐ第二弾

世界初の組立省力化システム「マーキングシステム™」〈PAT. P〉の新たな開発実用化 “当社主力製品「アルファフレーム®システム」とのパッケージ化により 2010 年拡販体制を確立”

エヌアイシ・オートテック株式会社（東京本社：江東区、富山本社：富山市 代表取締役社長 西川浩司）は自動車、電子、電気、精密、クリーンルーム、製薬、食品に至る多種多様な産業分野向けに先端技術を駆使した自動化・省力化装置を製造販売すると共に、その装置の基本機械要素部品でもある国産初の産業用アルミフレーム構造体、商品名「アルファフレーム®システム」シリーズも主力製品として製造販売しております。このように機械装置のインテグレーターとしてトータルソリューションを提供できる日本では唯一の自動化・省力化装置及び産業用アルミフレームメーカーであります。

益々厳しく、大きく変化する世界情勢・競争下において、日本の産業技術が優位に立ち続ける為にはお客様の生産技術及び製品開発のスピードアップ化、効率化を実現するために自動化・省力化の最大化が永遠の最重要課題であります。当社のタスクは、イノベーションの探求による次世代型の自動化・省力化システムを開発、提供することであり、最重要使命と位置付けております。

この度、当社は自動化・省力化システム装置メーカーとして 35 年にわたる長年の経験と実績及び「アルファフレーム®システム」によって製作された各種機械装置の技術をデジタル化することにより、付加価値技術である I T 技術を自社開発しました。

当 I T 技術と当社主力製品「アルファフレーム®システム」シリーズとのパッケージ化商品をご提供することにより、お客様の生産技術及び製品開発の自動化・省力化を最大化し、製品化の更なるスピードアップにお役に立つことが可能となりました。

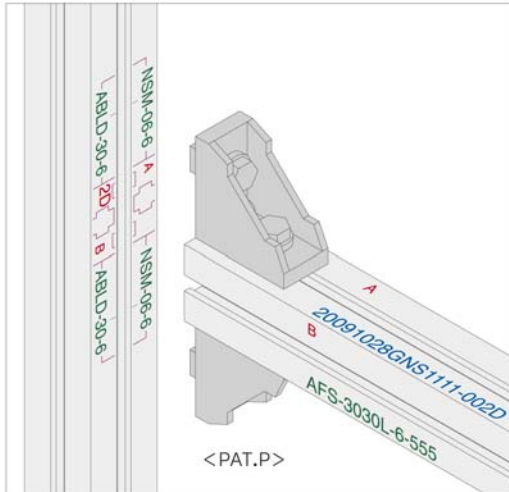
尚、当世界初の自動設計システム「カクチャ™」〈PAT. P〉シリーズ及びシリーズ第二弾、世界初の組立省力化システム「マーキングシステム™」〈PAT. P〉の開発、実用化に関しては 15 年前に研究・開発を開始、今期を含めて総投資額は過去 10 余年で 3 億円強にも及んでおります。

シリーズ第一弾である自動設計システム「カクチャ™」〈PAT. P〉及びこの度の組立省力化システム「マーキングシステム™」〈PAT. P〉の開発、実用化と「アルファフレーム®システム」とのパッケージ化により当社は計画通り 2010 年 1 月より拡販の強化を開始、高付加価値化を図ることで産業用アルミフレームのパイオニアメーカーとして一気にシェアとマーケットの拡大を狙ってまいります。

【世界初の組立省力化システム「マーキングシステム™」〈PAT. P〉】

今回開始いたしますマーキングサービスは、当社の「アルファフレーム®」におきまして部品リスト及び組立図面の情報をフレーム表面に専用インクジェットプリンタでマーキングすることで、組立作業時間を大幅に3割～4割、削減することが出来るものです。

好評を得ております自動設計システム「カクチャ™」とセットで利用いただくことで構造体における設計から組立までのトータルソリューションを実現いたします。



産業用アルミフレームのT溝へ四角ナットを挿入することによって、長手方向ではどこにでも取付可能という利便性をもってありますが、そのために組立時には複雑な図面から寸法を読み取り、現品にメジャーを当てて寸法を合わせながら組立てるといった煩わしさがありました。また、その外観が一樣であるため、締結する相手のアルミフレームを探すことにも大きな労力がかかっておりました。このようなことから組立時間の4割近くも『探す』『考える』といった作業に費やされておりました。この無駄を省くために以下の項目をアルミフレームにマーキングする技術を開発いたしました。

① 型式、部品番号が印刷されます

アルミフレームの外観は一樣で区別し難く、従来は寸法を測定しながら仕分けを行っていましたが、これにより寸法測定が不要となります。

② アルミフレームに挿入するナットの位置が印刷されます

作業時に図面を見る必要が無く、大幅な時間短縮とともに、スキル不要となります。

③ 取り付く部品の形状がフレーム表面に印刷されます

取り付く部品の形状をフレーム表面に印刷することで、図面を見ることもメジャーで合わせることも不要となります。尚、片方の手で取り付ける部品を持ち、他方の手でスパナを持ってボルト締結を行うため、同時にメジャーを当てることは困難であり、部品位置が印刷されていることは大幅な作業性向上となります。

④ 接合部に合いマークが印刷されます

接合する相手と照合できる番号が印刷されていることで、難解な図面を見なくても間違いの無い組立が可能となります。

⑤ 紙への大量印刷が不要となります

フレームに図面情報が印刷されていますので、紙の図面は大幅に削減され、1～2枚の図面で組立可能となります。クリーンルーム内で組立作業を行う場合などは現物に組立情報がマーキングされているため、高価な無塵紙を大量に使用することも、また図面を大量に組立現場へ持ち込む必要もなくなり、制限が多いクリーン環境下の作業時間削減等に一層の効果が期待できます。

⑥ 不要な印刷は消去可能

特殊印刷により、水拭きでは消去できませんが、アルコール拭きにより消去が可能です。

このような効果により、組立時間は約35%程度削減（当社データ比）でき、熟練者でなくとも作業できることを考慮しますと組立費用としては40～50%程度の削減も可能となります。

本サービスにより、これまで設計、組立の煩わしさから使用を躊躇しておられたお客様にも気軽に導入いただけるものとなり、使用範囲が大幅に拡大されるものと確信しております。

尚、本「マーキングシステム™」は、アルミフレームのみならず、将来的には多種多様な産業における構造体に対し、あらゆる設計・組立作業への応用も可能となり、あらゆる場面、分野へ拡大展開し、省力化や環境保全への貢献が期待されます。

以上